

スーパーマットW

植生マット工

切土法面

長期肥料供給型二重ネット付張芝



長時間安定&肥料効果を保ち、 法面緑化の維持・安定に最適の植生マット。

▶ 安定した緑化が可能

肥料袋を装着し、長期肥料効果を目的とした人工張芝です。肥料袋には、化成肥料・緩効性肥料・土壌改良材・保水材等が適量入りしており、肥料成分がゆっくり溶出し、肥料大量投入にありがちな濃度障害の心配はなく、**長期間安定した緑化**が可能です。

▶ 発芽生育に優れる

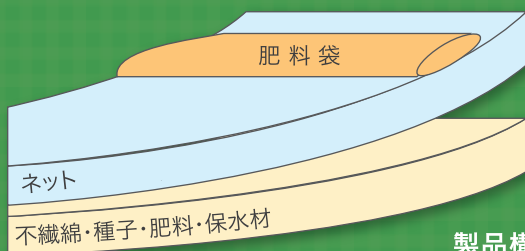
薄綿の高い柔軟性は乾燥・湿気に左右されず発芽時期まで種子を確実に守ります。また、雨水・夜露程度のわずかな水分でネットから離れ、凹凸面に均一に密着し、**種子等の移動が防止**され、発芽生育に優れています。

▶ 周辺環境に配慮

吹付プラント・吹付車等の**施工機械が不要**であるため、プラントヤードの確保、粉じん、騒音、汚水などへの配慮は無用です。また、施工後、法面に二重ネット及び綿状繊維が密着し**侵食防止に優れた効果**を発揮します。

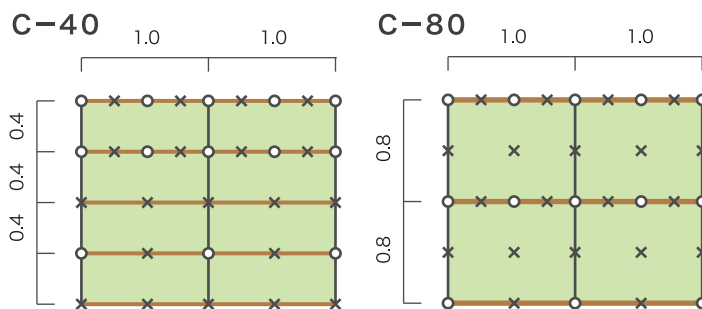


C-40写真



製品構造図

アンカー・止め釘打込図



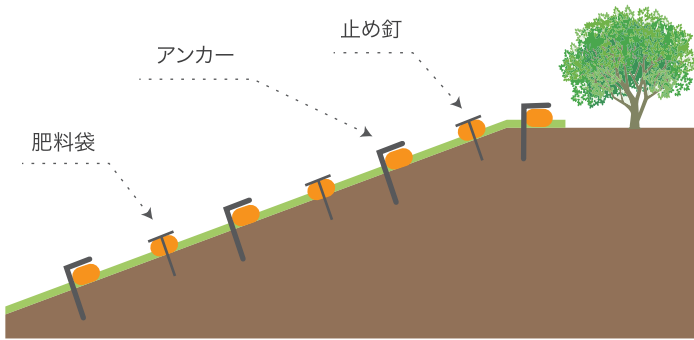
アンカー・止め釘の打込み位置については標準として示しておりますので、現場環境に応じて変更して下さい。

アンカー・止め釘数量(参考) 100㎡当り

タイプ	アンカー (φ9×200mm)	止め釘 (φ5×150mm)
C-40	184本	422本
C-80	174本	422本

種子配合は「短草配合」「在来種配合」も承ります。

施工方法



張付け前に、法面仕上げはできるだけ平滑に整形してください。その際、法肩のかぶり、浮石、浮土砂、ゴミ、雑草木等は完全に除去してください。根・雑草等が残っていると、マットが密着せず持ち上げの原因やシートの破れの原因になり、発芽に支障を及ぼします。

①

法肩部分は20cm程度巻き込んで種子、肥料などの装着面（薄綿の付いている面）を下にし、地山に密着するように張り付けてください。法肩部分に排水溝を設ける場合は、その縁までが理想です。

②

マットは地表に沿わせてゆったりと延展し、引っ張らないでください。（法肩から一気に垂らさないでください）法面の凹凸になじむようにマットをゆったりと張り、地山に密着するよう凹部には、止め釘の増し打ちをし、密着度を高めてください。

③

所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所にて打込み密着させます。

④

アンカーピンは肥料袋の下側に頭部を上にして打込み、止め釘は肥料袋の中央部に打込んでください。その際、地山に密着するように打込んでください。

⑤

張付時には、肥料袋が等高線状になるように施工してください。

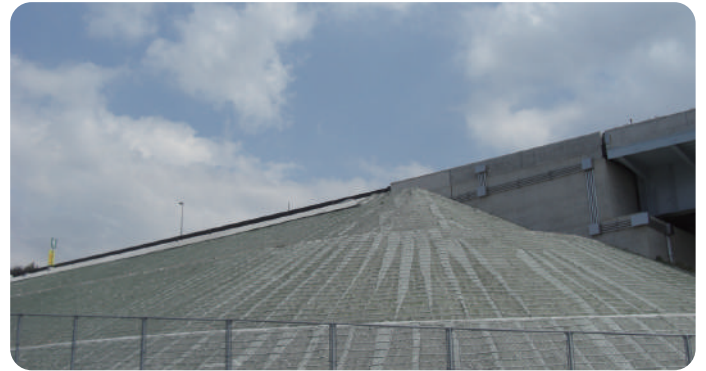
⑥

アンカーは天端、法尻および肥料袋の下側にアンカー頭部を上にして打込みます。止め釘は肥料袋の中心部に打込みます。肥料袋が地山に密着するように張り付けてください。

⑦

横の重ね幅は2cm程度、縦の重ね幅は10cm程度とします。法面途中でマットをつなぐ場合、上部マットを上、下部マットを下になるように重ね、アンカー、止め釘を打込んでください。

⑧



構造・規格

製品名	巾	長さ	梱包	肥料袋間隔
スーパーマットW C-40	1m	10m	10㎡	40cm
スーパーマットW C-80	1m	10m	10㎡	80cm

標準歩掛 100㎡当り

名称	内容	規格	単位	数量
材料費	スーパーマットW C-40	1m×10m	㎡	120
	アンカー	φ9×200mm	本	184
	止め釘	φ5×150mm	本	422
労務費	法面工		人工	1.7
	世話役		人工	1.1
	普通作業員		人工	0.9

注意事項

- ① マットは降雨による法面表面の侵食防止効果はありますが、法面外からの集中的な流入水や、土中水の処理まで果たすものではありませんので、所定の排水設備は基準通り設けてください。特に盛土の場合、高含水比での締め固めを避けるようにしてください。
- ② 降雨時、強風時の施工は避けてください。
- ③ 保管は、直射日光を避け雨水のかからない風通しのよい乾燥した場所に保管してください。
- ④ マットには、種子が装着していますので、早めにご使用ください。特に梅雨期、夏場は保管中の発芽懸念がありますので、取扱いにご注意ください。

 中部緑化株式会社

〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町伊与戸3番地

 <http://www.chuburyokka.jp/>

TEL 0533-68-4651

FAX 0533-68-4653

Mail mj23@chuburyokka.jp